

平成30年度第1回帯広市消費生活審議会 議事要旨

1 日 時

平成31年2月19日（火）13:30～14:15

2 場 所

帯広市役所 10階 第2会議室

3 出席者

【委員 10人】

野崎委員（会長）、村上委員（副会長）、
会木委員、大久津委員、太田委員、酒井委員、戸出委員、中野委員、中村委員、野村委員

【帯広市 6人】

野原市民活動部長、佐藤市民活動部企画調整監、大林安心安全推進課長、
杉山安心安全推進課長補佐、中川計量検査消費生活推進員、渋谷事務嘱託員

4 会議次第

(1)開会

(2)会長挨拶

(3)議事

①報告事項

ア 帯広市消費者行政の概要について

イ 帯広市消費生活基本計画に係る進捗状況について

ウ 平成31年度帯広市消費生活審議会開催スケジュールについて

②その他

(4)閉会

5 配付資料

資料1 平成29年度版 帯広市消費者行政概要

資料2 第2期帯広市消費生活基本計画 平成29年度施策評価表

資料3 第2期帯広市消費生活基本計画

資料4 帯広市消費生活条例、施行規則

資料5 平成31年度帯広市消費生活審議会開催予定について

6 議事要旨

(1) 議事①報告事項 ア 帯広市消費者行政の概要について、事務局から報告、説明した。

委員からは、

- ・帯広市消費生活アドバイスセンターにおける消費生活相談の内訳
- ・急増している架空請求の内容や被害に遭う対象者
- ・10代以下の若年層の相談内容や実態
- ・高校、専門学校生等に対する予防教育講座の対象学年や受講生の反応などについて質問があり、事務局より回答した。

委員からは、10代以下によるスマートフォンやネットによる被害もあるが、災害等に遭遇した場合の連絡手段としての活用もあり、両方の側面があるので注意して見ていかなければとの意見があった。

次に、議事①報告事項 イ 帯広市消費生活基本計画に係る進捗状況について、事務局より報告した。

委員からは、

- ・小中学校への消費者講座開催の取り組み
- ・高齢者被害に対する施策

などについて質問があり、事務局より回答した。

委員からは、消費者問題は小中学校の授業の中に取り入れ、実際に起こった被害等を事実として伝えるべきであり、多くの学校で講座を開催できるようにしてほしいとの意見があった。

次に、議事①報告事項 ウ 平成31年度帯広市消費生活審議会開催スケジュールについて、事務局より報告した。

報告事項 ウ について、委員から質問、意見等はなかった。

(2) 議事②その他について、委員から質問、意見等はなかった。

(3) 閉会